



3代目 連節バス

新型連節バス

2021年3月30日 (火) デビュー！



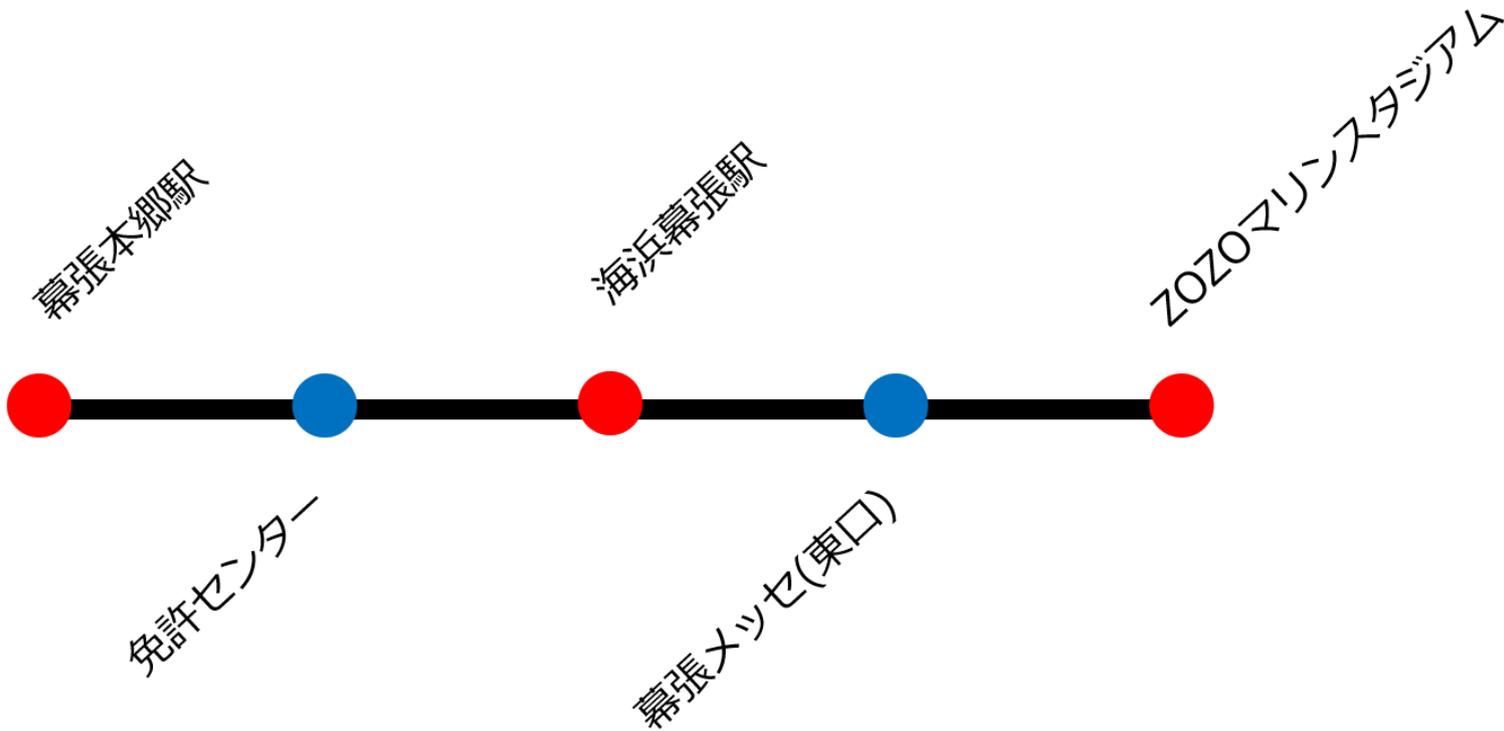
2代目 連節バス



初代 連節バス

運行ルート

新都心・幕張線（主要バス停を抜粋）



主なバス停時刻表

※すべての運行便が新型連節バスでの運行ではございませんので、予めご了承ください。

幕張本郷駅 [海浜幕張駅・ZOZO マリンスタジアム方面](#)

海浜幕張駅 [幕張本郷駅方面](#) [ZOZO マリンスタジアム方面](#)

ZOZO マリンスタジアム [海浜幕張駅・幕張本郷駅方面](#)

料金

[こちら](#)をご覧ください

車両紹介



特徴

- ・いすゞ自動車と日野自動車が共同開発した国産連節バス
- ・環境にやさしいハイブリッド仕様
- ・ドライバー異常時対応システム（EDSS）を搭載

※ドライバー異常時対応システム

（EDSS : Emergency Driving Stop System）

走行中、ドライバーが急病などで安全に運転できない状態に陥った場合、お客様や乗務員自身が非常ブレーキスイッチを押すことで、減速して停止させる装置。

概要

<車両>

日野ブルーリボン ハイブリッド連節バス

<スペック>

全長 17,990mm 全幅 2,495mm

全高 3,260mm

定員 113名

（座席 38名 + 立席 74名 + 運転席 1名）



デザイン

- ・2代目のボディカラーを踏襲
- ・車両前後、側面上部には当社コーポレートカラーの帯と「シーガル幕張」のロゴを付すことで「幕張新都心の京成連節バス」を表現



連節バスの歩み



1998年12月 初代連節バス運行開始

全国の路線バスで初めて、一般路線バスとして、連節バスを導入しました。

導入区間は今回の運行区間と同じ「幕張本郷駅～海浜幕張駅～千葉マリスタジアム（現ZOZOマリスタジアム）」です。

初代はボルボ社より輸入したエンジン・シャシに、富士重工業（現スバル）で車体を架装した連節バスでした。

2010年2月 2代目連節バス運行開始

初代連節バスの代替に伴い、2代目連節バスを導入しました。また、初代連節バス10両を代替後、新たに5両増備しました。

2代目はエポバス社製メルセデス・ベンツ「シターロ」シリーズの連節バスです。



2020年10月 東京BRTプレ運行開始

連節バスの実績を評価され、東京BRTの運行会社にも選定され、プレ運行を開始しました。

車両はいすゞ自動車のエルガデュオです。

本格運行後は東京BRT株式会社の運行となる予定です。

2021年3月 3代目連節バス運行開始

2代目連節バスの代替を見据え、先んじて2両導入します。

3代目は日野ブルーリボンのハイブリッド連節バスです。

